《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》 小林 正伸 倉橋 昌司(非) 加藤 幸紀(歯) 西 基 濱田 淳一

【概要】

科学としての医学の成立過程、生命の成り立ち、病気の成り立ち、口腔の健康、内科学から見た疾病、医療倫理、生命倫理、医療過誤、医療経済、ターミナルケアなど、医療・医学のベースとなる課題を学ぶ。

【学習目標】

医療従事者を目指すものとして、医学・医療の現状と課題を理解するために、科学としての医学の成り立ちと歴史、現在医療が求められているもの、医療現場で問題となる事象を学習して、これに対応できる力を身につける。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	医学とは何か	医学を学ぶ意味	小林
2	ボランティア論	ボランティアとは何か？	中梶慎太郎(特別講師) ・小林
3	ボランティア活動の実際	実際のボランティア活動についての学習	中梶慎太郎(特別講師) ・小林
4	生命の成り立ち	生物進化と生老病死	倉橋
5	生命の成り立ち	進化医学、文明と疾患	倉橋
6	がんとは何か	DOHaD (Developmental Origins of Health and Disease) という考え方	濱田
7	がんとは何か	進化生態学的にがんを考えてみる	濱田
8	歯科学について	歯の健康	加藤
9	歯科学について	口腔の健康	加藤
10	医療倫理総論	医療倫理について	安彦祐介(特別講師) ・小林
11	医療現場での倫理	ハンセン病について	井上昌和(特別講師) ・小林
12	医療現場での倫理	薬害被害について	井上昌和(特別講師) ・小林
13	医療事故、医療過誤	医療の社会的問題点	西
14	医療経済など	医療と経済	西
15	ターミナルケアと癒し	終末期医療と癒しについて	小林

【評価方法】

レポート (100%)

講義の中から一つを選び、1200字程度で講義の感想や講義を受けて考えたことなどをまとめる。

【備考】

教科書 : なし

【学習の準備】

次回の授業範囲を見て専門用語の意味等をインターネットなどで確認して理解しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1,2,4